



大地申第26号

2月26日開催

「さいたま運転区における、一部副長や指導員等による『労働組合活動への支配介入』
に対して、この間の労使確認のもと、原因究明と厳正な対処を求める」申し入れ

第2回交渉

被害を受けた側に聞かないとする支社回答はおかしいぞ！都合が悪いからか？

副長への「調査は十分で再調査はしない」

浦和統括センター
乗務ユニット南オフィス
さいたま運転区

で、3名の組合員が「嘘つき？」になっている…

正しい報告をした組合員が悪者になり、

嘘の報告をした管理者が正しい??

特徴的な議論(ポイント)

組合被害を受けた側にも聞き取りすべきとして、今回は本人が初めて申告し
確認を会社に求めている。しかし申告した3人が嘘つきと呼ばれていると述べている。

会社3人が嘘つきだと思わない。3人の申告を否定するものではない。不適切な内
容について指導している。

組合本人はパンチのあるワードとして忘れる訳はない。3名から聞
き取りを行うべき。3名が嘘を付いていると認識しないのであれば、
3名の証言を受け、大宮支社としてはその通りだと認定して欲しい。

会社3名が勇気をもって管理者に伝えたことは確認をして、当該副長は
その発言はしていないと確認した。3名から嘘つきと呼ばれて
いると言われたが、会社としてはそう認識はしていない。内容を踏まえて、3
人の話も嘘だとは思わないが、当該副長が「言っていない」と述
べている事も尊重すべき。言葉の認識の違いかとも思う。労働組
合の加入確認をしていることは事実なので、改善を求めていく。

アウト?

組合直接事実を確認すべき。社会一般的にもそうだ。なぜ支社は本人から確認し
ないのか。本人達を集めて、全部本人を前にして話せばよい事だ。不当労働行為
を無くすのであれば、その姿勢はおかしい。本人がしていない、と述べた事
のみを以て判断するのはおかしい。

会社全てにおいてやらないというわけではない。今回
は箇所として行うと決めた。事実確認については時々の
状況を踏まえ判断する。今回は本人達が嘘を付いている
とは認識しない。

団体交渉参加者感想

会社は、面談で組合の話はした。「優良な組合員」や
「激アツ」、「引き継ぎ」のワードは副長の「言っていな
い」ということを認定し、丸くおさめようとしている。

面談のあり方を是正す
べく、勇気を出し一歩
前に出た3人の組合員
を評価すべきだ!

会社姿勢が管理者の言動や態度
に現れている! 正しい報告を
していないのは会社だ!

職場が正常に機能するのは人と人
との円滑なコミュニケーション。それ
が安全で安心して利用してもらえる
JR 東日本がつくられる! 私たちも声
を上げ、常識的な職場を取り戻すた
めに奮闘する!

被害を受けた側
の話を聞くべきだ!

第1項継続議論